

10月31日まで！検診で守る、あなたの健康

大腸がん

大腸がんは、日本人がなるがんの中で最も多いがんです。死亡数は女性では第1位、男性では肺がんに次いで第2位です。**便潜血検査はワンコイン** (500円) でできます。



肺がん

がんによる死亡数の第1位で、進行すると治療が難しくなります。しかし、早期のうちに治療すれば**約8割**が治ります。

子宮頸がん

子宮頸がんは 20~30 代の**若年層に多い**がんです。検診では、がんになる前の正常でない細胞も発見でき、早期治療につながります。

胃がん

胃がんによる死亡数は男性3位、女性5位ですが、早期発見・早期治療で治る可能性の高いがんです。**50歳以上**は**内視鏡検査**をお勧めします(隔年、有料)。

出典：全国がん登録罹患データ (2021)
人口動態統計がん死亡データ (2023)

※ここでいう治る (=治癒) とは、診断時から5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因でなくなる人の影響を除いた数値です。

注目!

乳がん

乳がんは、女性がかかるがんの中で最も多く、9人に1人の割合で発症するといわれています。

乳がんにかかる人は、働き盛り・子育て世代である30代から増え始め、**40代後半でピーク**を迎えます。

しかし早期発見・早期治療で**90%以上**が治ります。

治る確率が高いうちにを見つけることが重要です。

※気になる症状がある場合は、すぐに医療機関を受診してください。



40歳以上の女性は**2年に1度**、乳がん検診を受けましょう。



がん検診の内容・料金等は「**特定健診・がん検診のご案内**」をご覧ください。



婦人がん 集団健診予約はこちらから

